

7/13(土)~8/31(土)

サマーフェア開催中

展示会のご案内

◇展示資料館 1F (7/27~9/4)

ボタニカルアート作品展

◇展示温室 (7/20~8/18)

世界の食虫植物展

レンゲショウマ (キンポウゲ科)

日本固有種で1属1種の植物です。ビ
一玉のようなつぼみから、ハスを逆さまに
したような可憐な花を咲かせています。

ラッカセイ (マメ科)

中南米原産の植物で、日本では江戸時
代に中国から渡来したことから南京豆
とも呼ばれています。夏に黄色の花を咲
かせた後は、子房柄という部分が地面の
中まで伸び、土の中で子房が
膨らんで豆ができます。
花が落ちて土の中で実が
できるように見える
ことから落花生と
名づけられました。

サギソウ

(ラン科)

日本原産の湿地に
自生する野草です。白
い清楚な花はサギが羽
を広げたように見え
ます。当園のシンボルマ
ークにもなっています。

ムサ・オルナタ

(バショウ科)

蓮のような桃色の花をつ
けています。小型の観賞用
のバナナなので、残念なが
ら食べることはできません。

ヒマワリ (キク科)

カスケードと花の迷路に矮性
(株丈 20 cm~1m) の品種を約
1200株植えています。花は小型
ですが集合写真にお勧めです。

マンデビラ (キョウチクトウ科)

中南米原産のつる性植物で、花
を次々に咲かせます。緑のカーテ
ンにも用いられます。

ツクミソウ (アカバナ科)

メキシコ原産の植物で江戸時
代にマツヨイグサなどと一緒に
観賞用として導入されました。
夕方から白い花を咲かせ、朝
にはピンク色になり、しぼむ一
夜花です。
適応性が弱く、野生では見ら
れないため、野生化してよく見
られるオオマツヨイグサ等がツ
クミソウと勘違いされているこ
とがよくあります。

オミナエシ

(オミナエシ科)

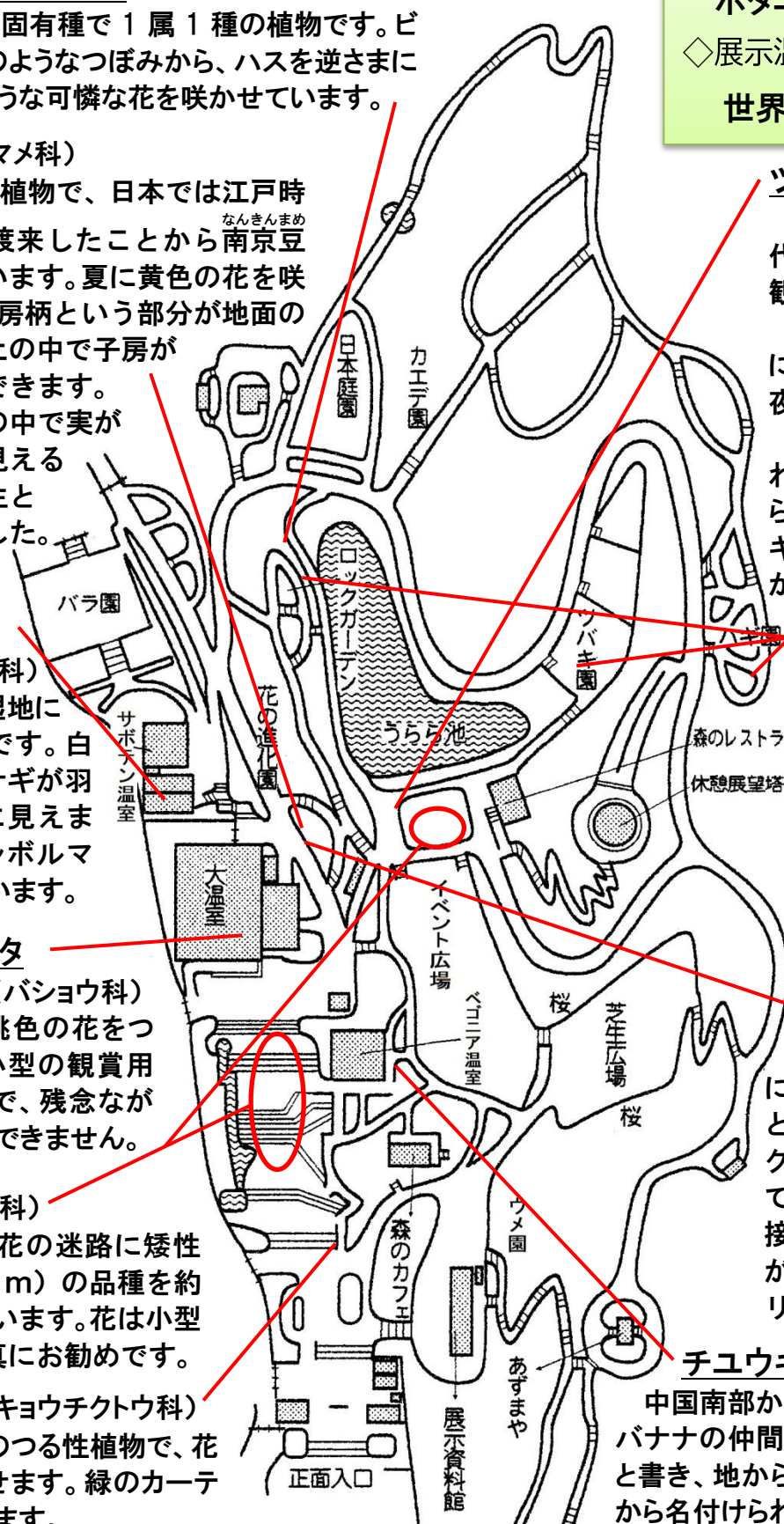
秋の七草の一つで、小さな
黄色い花を沢山咲かせま
す。万葉集や源氏物語にも
出てくる有名な植物です。
漢名は「敗醬」と書き、乾燥
させると根が醤油の腐敗し
たような臭いをさせること
からこの名が付けられました。

オジギソウ (マメ科)

南アメリカ原産で、世界中
に帰化しています。葉を触
ると閉じることで有名で、ピン
ク色の毬状の小さな花をつ
けています。葉が閉じる原因は
接触や振動などがありますが、
夜にも閉じるので、「ネム
リグサ」の異名もあります。

チュウキンレン (バショウ科)

中国南部からインドシナ半島に自生する
バナナの仲間です。中国では「地湧金蓮」
と書き、地から湧いた金の蓮に見えるこ
とから名付けられました。



✿毎週土・日曜日・祝日 午後1時半~3時20分は、ガイドボランティアが園内を案内します✿

✿毎月第2火曜日・第4土曜日 午前11時~は、職員による植物うんちくガイドを実施します✿